



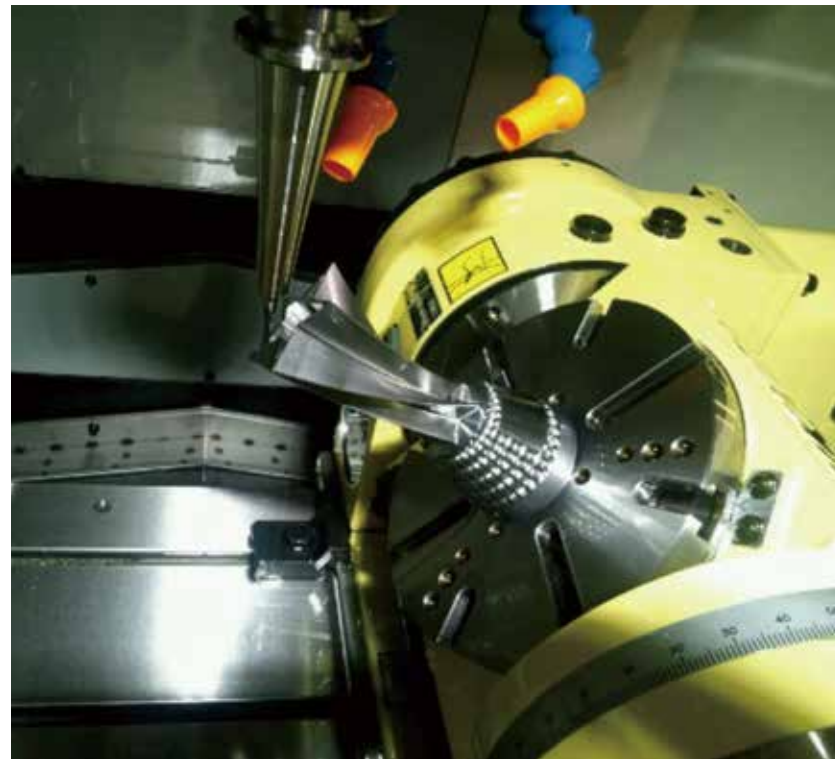
株式会社 辺見製作所

事業テーマ

5軸マシニングセンタ導入による高精度 ・高効率・短納期の実現と新規顧客の獲得

【事業類型】設備投資のみ

【対象類型】ものづくり技術



●本事業への取組みの経緯・目的

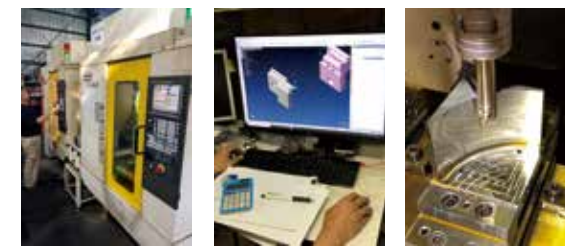
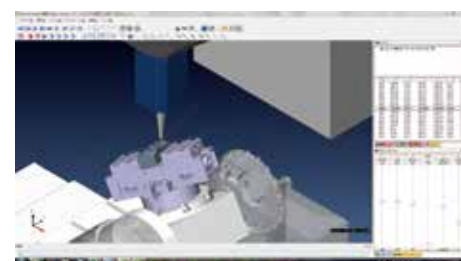
当社はプラスチック金型を製作しております。主に医療メーカー、自動車メーカー、電気メーカーの仕事です。近年顧客からは精度の高いものを要求され3軸加工機では対応出来ないものも出てきています。また、短納期の仕事も多く、リードタイム短縮を強く迫られている現状です。

5軸マシニングセンタの普及率はプラスチック金型業界ではいまだ低く、今回の導入により最先端の設備となり、安値を強みとする中国や韓国の金型メーカーに対し、当社は技術的に優位に立つことができます。

さらに、高精度を強みに製品・単価アップを図ります。

●実施内容

5軸マシニングセンタ（FANUC ROBODRILL α-D21MiA5）と5軸対応CAD/CAMを導入し、精度の高い製品と短納期を実現させました。

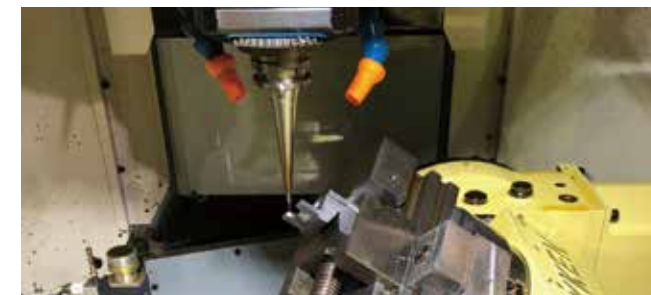


右の写真は現場の様子です。金型製作には機械と人の技術、どちらも欠かす事ができません。

事業実施の成果

3軸機では切削工具が届かなかったり、反転時に取付け誤差が生じるなどの問題が発生しますが、今回導入の5軸機ではそれらの問題がなく、高品質な製品に仕上がりました。

また、ワークを乗せ替える時間の短縮や刃物の突き出し量を短く設定できたことにより、従来機よりも約15%のリードタイム削減を実現させることができました。



今後の展望

【2020年1月に最新平面研削盤の導入を決定】

・新たな平面研削盤の導入による生産性向上や製造リードタイムの短縮による生産能力増大の効果を新たな金型の開発や新規顧客の開拓に繋げ、更なる売上の増加を目指します。

・今後の機械操作オペレータの人手不足や熟練工の引退等による貴重な技術や経験が失われることへの対応や人員の確保が課題ですが、最新鋭平面研削盤の導入により、無人運転の実施や熟練工のノウハウの標準化が可能になり、一人の従業員による機械の多台持ちや技術の円滑な承継を実現することができます。これらにより、従業員一人当たりの稼働力、いわゆる労働生産性の向上を図ります。



社長から一言



代表取締役 邊見 勇

当社は30代・40代を中心とした、「若さ」あふれる会社です。

この若さが当社の力であり、財産であり、また、将来の可能性の源であります。そして、人とのつながりを大切にする会社であります。機械だけでは決していい仕事は出来ません。

最も重要なことは「ものづくり」に関わる全ての人々との信頼関係です。

お客様、社員、協力会社の皆さま、家族、近隣の方々など様々な方が「ものづくり」に関わっています。

当社に関わる全ての方々から今まで以上に信頼され、地域の皆様に愛される会社であり続けるために、株式会社辺見製作所の社員は「ものづくり」から地域社会への貢献という意識を常に抱きながら仕事に接しています。

企業データ

主な事業・業種	金属製品製造業・金型製造
得意分野	医療・電子機器等の精密金型
所在地	本社：〒276-0031 千葉県八千代市八千代台北4-18-20 事業実施場所：〒276-0001 千葉県八千代市小池352-1
TEL	本社：047-489-7844
FAX	本社：047-489-7870
設立	昭和45年4月1日
代表者	代表取締役 邊見 勇
従業員数	5名
資本金	300万円
売上高	6,000万円（平成30年度）
URL	—
Email	henmi@cup.ocn.ne.jp